

## 仙台二高吹奏楽部 OB 会「二吹会」発足の経緯と歩み、メモ (2019.03.31.)

### 1. 吹奏楽部の創設と指導者 (顧問・監督) :

- 1) 1955 (昭和 30) 年 ; 一・二高定期戦の応援のために同好会として発足し、その後、「部」へ昇格。発足の際、亀掛川 (胃腸科医院院長)、大河内 (大一楽器社長) 両同窓生の物心両面からのご支援により、楽器が調達された (昭和 29 年入学、高 10 回生として 1958 (昭和 33) 年 3 月卒業の秋山宏好氏の同期会への寄稿文より)。
- 2) 当時の活動体制 ; 教諭による顧問 (輪番制、初代は結城幸多郎先生)、生徒互選に依る部代表を置き、指導者は学校長辞令により校外 (全日本吹奏楽連盟東北支部・宮城県指導員など) から招請していた。  
創設期の指導者は小野義徳先生 (実質的な初代音楽監督/1956 年-1974 年在任) / (全日本吹奏楽コンクール・A クラス (大編成) において、当部を第 4 回東北大会 (1961 (昭和 36) 年秋、於青森) まで導く)。

### 2. 二吹会発足の経緯と創部 50 周年記念 OB 演奏会、創部 60 周年記念定期演奏会など

- 1) 昭和の末頃まで、前出の秋山宏好氏の声掛けにより時々、高 9~高 17 回卒を中心に小野先生を囲むブラバン OB 会が開催される。なお、秋山宏好氏は、本会の名称を「仙台二高吹奏楽部 OB 会」に由来する「二吹会」とした秋山ノート (名称と会則、OB 住所録) を作成した。
- 2) 1999 (平成 11) 年 ; 高 13 回卒の菅野・塩出両氏の声掛けにより初めて一泊で OB 会が開催される (1999. 6. 19. 秋保温泉「ホテル華の湯」)。以後、隔年開催を原則とし、秋山氏への配慮もあつてか、この集まりは仙台二高・ブラバン「復活 OB 会」と呼称されるようになった。この第一回復活 OB 会には高 9~高 15 回卒計 24 名の参加を得た。
- 3) 2001 (平成 13) 年 ; 高 15 回卒の庄子・七澤両氏を幹事に秋保温泉にて開催 (2001. 5. 26. 「ホテル・ニュー水戸屋」)。この「第 2 回復活 OB 会」は高 9~高 16 回卒計 23 名が参加した。その際、秋山宏好氏より秋山ノートに基づく会名「二吹会」と、その「会則」に関する正式な提案を受け、尾形を中心に次期当番幹事が検討することになった。
- 4) 2003 (平成 15) 年 ; 高 14 回卒を幹事として第 3 回復活 OB 会が市内のホテルにて開催された。新たに発掘把握した高 22 回生までの名簿を基に計 43 名の OBと、これまでご招待してきた小野先生に加えて、新たに当時顧問の持田 亮先生、そして現役の生徒二名 (部長武田賢治君・副部長遠藤太一郎君) にも参会戴いた。  
幹事を代表して尾形が挨拶で、会の発展と若い OB 諸兄の奮起を促すべく、【昭和 30 年の発足を起点とすれば、次回 2005 年の OB 会は創部 50 周年に当たること、ライバルの一高では OB 会のホームページを立ち上げているのみならず、現役との合同演奏会が開かれていること】を紹介した。また、「二吹会」への会名変更に向けた検討状況が報告された (2003. 6. 21. 「仙台ワシントンホテル・三十三間堂の間」)。
- 5) 2005 (平成 17) 年 ; 高 19 回卒の高橋良一・高 22 回卒但木 均・白土統雄、前出の武田賢治の 4 氏を幹事とした復活 OB 会開催とともに、その武田賢治氏 (高 56 回卒、当時

大学2年次学生) を実行委員長とした「仙台二高吹奏楽部創部 50 周年記念 OB 演奏会」が東北大学川内記念講堂(現同大学 100 周年記念“川内萩ホール”)に於いて実現した。

演奏会後の「第 4 回復活 OB 会」は総勢約 70 名が集い、盛会であった(2005. 10. 02. 「仙台国際ホテル・広瀬の間」)。これを機に「正式な OB 会 “二吹会” 設立」の気運が高まった。

#### 6) 2007 (平成 19) 年 ; 「二吹会」の正式発足へ

二吹会発起人会を立ち上げるべく主要な OB が集まって、役職を次のように内定した。高 11 回卒の龍田正隆氏を会長、副会長に松永雄治氏(高 12 回卒)他 2 名、幹事長に但木均氏(高 22 回卒)、幹事を武田賢治氏(高 56 回卒)他 4 名に依嘱。

複数回の検討会合を経て、把握された高 59 回卒までの OB へ案内の上、34 名の OB 出席のもと二吹会設立総会が挙行された。同会の役職案が承認され、第一期執行部が発足した。引き続き懇親会が高 32 回卒の和賀久佳氏(当時母校の国語教諭・硬式野球部部长)司会の下で行われた(2007. 9. 23. 「ホテル白萩」)。

#### 7) 2015 (平成 27) 年 : 第二回二吹会総会&懇親会の開催

現役生徒による「創部 60 周年記念第 28 回定期演奏会」に合わせて、8 年ぶりに開催された。高 68 回卒までの登録会員から 63 名の OB 会員が出席した。会員への案内書の配信は個人情報に拘わる問題点をクリアするため、武田賢治弁護士(高 56 回卒、現幹事)のアドバイスに基づいて二吹会会長のみならず母校の顧問教諭、生徒の部長との連名で行った。そのため、母校吹奏楽部より年初に案内のあった前述の演奏会開催、OB 合同ステージへの参加、活動資金の支援依頼等と重複・併記の案内状となった。

会場は、当初、東北大学 100 周年記念萩ホール・別館(旧松下記念会館)2F の会議室を想定していたが、諸般の事情から同じ川内キャンパス内の学生食堂(川内の杜ダイニング)に於いて、定演の OB 合同ステージ終了後開催された。小野義徳初代音楽監督、持田 亮元顧問、そして初めて現役校長(渡邊幸雄先生)にもご臨席戴いた。

#### 8) 2016 (平成 28) 年 ~ : 松永雄治氏(高 12 回卒)を会長とする第二期執行部が発足し、現役生にとっては節目となる第 30 定期演奏会以降の会場における支援や寄付金、二吹会 HP の開設、二高同窓会 HP のリンク張り、そして若い OB 取り込みを意図して 2018 年 1 月 2 日に第三回総会・懇親会(37 名の正会員と特別会員 4 名の参加)を挙行した。

### 3. 二吹会による現役支援実績と卒業年度の若い OB との関わりを含む今後の活動課題

- 1) 復活 OB 会、二吹会による支援実績 ; 復活 OB 会開催時にはカンパを募り、譜面および譜面架台購入代などの一部にと顧問を通じて寄付を行った。二吹会発足後の 2015 年は、会員による協賛金 556, 000 円と楽器の寄贈とが行われた。二吹会としては 2016 年と 2018 年に合計 14 万円を寄付し、更に会員による個別的協賛・支援も継続している。
- 2) 若い OB との意思疎通、役員会の若返り策、単なる経済的支援に止まらない現役生の部活動支援策、創部 70 周年記念 OB 演奏会等々、今後の活動の検討課題である。

以上

【文責 : 二吹会副会長 尾形正裕(高 14 回)】